

特別展

本日は晴天なり

不慮の事故により始まった星野富弘の入院生活。人工呼吸器の使用により、声を出すこともできない状態が続く中、約1ヶ月ぶりに発した言葉は、『アー、アー、えーと、…アー…、…本日は晴天なり』でした。どっとおきた笑い声に、重く固まったように閉ざされた病室の空気は揺れ、星野はその光景に、まるで厚い雲の隙間から光が差すような、希望への繋がりを感じたそうです。

本展では、「空の底」や「雨ニモ負ケテ」、「ルリヤナギ」などの“空模様”を連想させる作品を特集展示します。ぜひ、ご鑑賞ください。



星野 富弘（ほしの とみひろ）

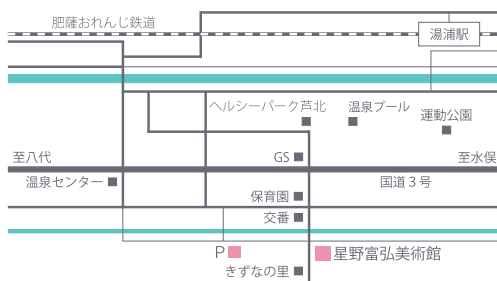
1946年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。大学を卒業後、中学校の体育教師になるが、クラブ活動（器械体操）の指導中、模範演技で空中回転したときに誤って頭部から転落。頸髄を損傷し、首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵をかきはじめる。前橋で最初の作品展を開く。退院後、新聞等に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年、高崎で初の「花の詩画展」を開催。以降、全国各地また海外でも開催され現在も続いている。1991年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に富弘美術館開館。2006年、芦北町立星野富弘美術館開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。著書多数。

ミュージアムショップ

星野富弘『花の詩画集』をはじめ、その他書籍、絵はがき、詩画集カレンダー等さまざまな商品を取り揃えています。観覧料なしでご利用できますので、お気軽にお立ち寄りください。

美術館までのアクセス

○ＪＲ九州新幹線「新水俣駅」から肥薩おれんじ鉄道線で「湯浦駅」まで13分／湯浦駅から歩いて15分
○ＪＲ九州新幹線「新八代駅」から肥薩おれんじ鉄道線で「佐敷駅」まで55分／佐敷駅からタクシーで10分
○九州自動車道「八代ＩＣ」から南九州西回り自動車道「芦北ＩＣ」まで30分／芦北ＩＣから15分
○南九州西回り自動車道「水俣ＩＣ」から「津奈木ＩＣ」まで5分／津奈木ＩＣから15分



※美術館玄関前に、障がい者用駐車スペースがございます。
※バス等の駐車については、美術館までお問い合わせください。



芦北町立

星野富弘美術館

〒869-5563 熊本県葦北郡芦北町湯浦 1439-2
TEL:0966-86-1600 FAX:0966-86-1600
<http://www.hoshino-museum.com>

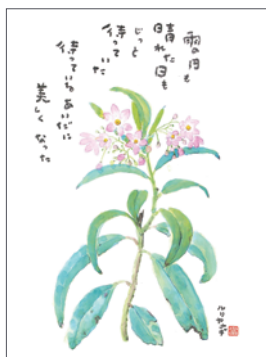
（姉妹館）富弘美術館・群馬県みどり市東町草木 96 TEL:0277-95-6333 FAX:0277-95-6100



「空の底」2009年



「雨ニモ負ケテ」2002年



「ルリヤナギ」1998年

季節の常設展『秋』

「花は種を」や「栗の実」、「すずめ」など、秋をテーマとする作品を展示します。



「花は種を」2014年



「栗の実」1982年



「すずめ」2005年

【お知らせ】

●芦北町立星野富弘美術館次回展覧会

特別企画展「わたしが選んだ富弘さん展 Vol.2」

2022年12月13日（火）～2023年3月12日（日）

2020年に開催された「わたしが選んだ富弘さん展」の第2弾。美術館のアンケートで選ばれた人気作品の数々を展示します。

●富弘美術館（群馬県みどり市）展覧会

特別展「放課後」開催中！

2022年11月27日（日）まで

幼少期から現在まで、星野富弘が会った「友」をテーマとする作品を紹介します。

●星野富弘詩画展 in 大分

「風の旅展」／会場：湯布院 受け月

2022年9月23日（金・祝）～10月24日（月）まで

初の星野富弘絵本ギャラリー展を開催。優しさに満ちた富弘作品を紹介します。

どうして熊本県芦北町に星野富弘美術館？

休止されていた「星野富弘 花の詩画展」が、1994年の熊本県立美術館での開催を境に再開されます。それが契機となり、1年後に「星野富弘詩画がある芦北ふるさとギャラリー」が芦北町に開設。以後、交流が続くなかで富弘美術館（群馬県みどり市）の唯一の姉妹館として、2006年に「芦北町立星野富弘美術館」が誕生。当美術館は、星野富弘の詩画作品を常設展示しています。皆様には、星野の描く「いのちの尊さ・いのちの輝き」を感じていただければ幸いです。